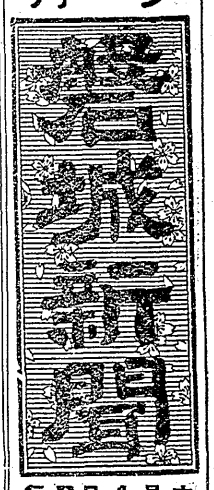
夕刊



六月八日發行

定價（郵稅拾五錢）一ヶ月金六拾錢　一部金五錢

廣告料金（普通欄）一行金拾錢　（特殊欄）一行金壹圓

發行所　磐城新聞社

編輯印刷兼發行人　柏木哲夫

（日曜祭日翌日休刊）

途上漫筆（三）

小野生

所用を帶び出福の歸途、二本松町に知人佐藤氏を尋ねる爲めに、時餘の暫見的鳥瞰をなした、二本松は古くより知人多く、殊に田倉孝雄、本間忠（故人）、今泉宗介、野地菊司、鈴木久次郎の諸氏尤も知己たるを得た、以上は然かも徒黨を組むで、同歩調に事業界に手を染め、一絲亂れざる統制振りを以て他町有志家の羨望の的となつて居つたものである。

而して此等實業界の手は磐城方面の事業、製氷の各事業に延び、一は好間事業となり、一は泉製氷、四倉製氷、嬰て平製氷となつて磐城實業者との連絡となり事業熱旺盛時代の、導火線となつたものである、然るに此等有力なる、實業團は財界を吹き捲くる不況には抗し切れず相前後して、枕を列ねて、或は破れ、或は殘れ、其敗殘を餘るものは僅か數氏に過ぎざる寥落の姿と化し去つた事を追想する時、二本松の鳥瞰は、何となく意義あるを物語るものであらうと思ふ。

就中本間氏は安達實銀の頭取にして其の手腕の見る可きものありと稱せられたが、實銀の休業に間もなく殘れて仕舞つた、其の堂々たる私邸は、變りも變つたもので、自動車のガレージとして、昔の物影更にない實銀で思ひ出したが、二本松は、大地主や蠶家の多いだけに、銀行の本支店が多く開かれて居つた、二本松銀行は代表的に牢固を稱せられても亦果敢なくも確く扉を閉ぢて眠むるが如く、郡山合同銀行亦休業のすべねる爲めに、時餘の暫見的殘骸、百七又然かると云ふ狀況にて其の社屋の一際目立つと共に、預金者の悲憤くより知人多く、殊に田倉孝雄、本間忠（故人）、今泉宗介、野地菊司、鈴木久次郎の諸氏尤も知己たるを得た、以上は然かも徒黨を組むで、同歩調に事業界に手を染め、一絲亂れざる統制振りを以て他町有志家の羨望の的となつて居つたものである。

而して此等實業界の手は磐城方面の事業、製氷の各事業に延び、一は好間事業となり、一は泉製氷、四倉製氷、嬰て平製氷となつて磐城實業者との連絡となり事業熱旺盛時代の、導火線となつたものである、然るに此等有力なる、實業團は財界を吹き捲くる不況には抗し切れず相前後して、枕を列ねて、或は破れ、或は殘れ、其敗殘を餘るものは僅か數氏に過ぎざる寥落の姿と化し去つた事を追想する時、二本松の鳥瞰は、何となく意義あるを物語るものであらうと思ふ。

就中本間氏は安達實銀の頭取にして其の手腕の見る可きものありと稱せられたが、實銀の休業に間もなく殘れて仕舞つた、其の堂々たる私邸は、變りも變つたもので、自動車のガレージとして、昔の物影更にない實銀で思ひ出したが、二本松は、大地主や蠶家の多いだけに、銀行の本支店が多く開かれて居つた、二本松銀行は代表的に牢固を稱せられても亦果敢なくも殘れて仕舞つた、其の堂々たる私邸は、變りも變つたもので、自動車のガレージとして、昔の物影更にない實銀で思ひ出したが、二本松は、大地主や蠶家の多いだけに、銀行の本支店が多く開かれて居つた、二本松銀行は代表的に牢固を稱せられても亦果敢なくも確く扉を閉ぢて眠むるが如く、郡山合同銀行亦休業のすべねる爲めに、時餘の暫見的殘骸、百七又然かると云ふ狀況にて其の社屋の一際目立つと共に、預金者の悲憤くより知人多く、殊に田倉孝雄、本間忠（故人）、今泉宗介、野地菊司、鈴木久次郎の諸氏尤も知己たるを得た、以上は然かも徒黨を組むで、同歩調に事業界に手を染め、一絲亂れざる統制振りを以て他町有志家の羨望の的となつて居つたものである。

而して此等實業界の手は磐城方面の事業、製氷の各事業に延び、一は好間事業となり、一は泉製氷、四倉製氷、嬰て平製氷となつて磐城實業者との連絡となり事業熱旺盛時代の、導火線となつたものである、然るに此等有力なる、實業團は財界を吹き捲くる不況には抗し切れず相前後して、枕を列ねて、或は破れ、或は殘れ、其敗殘を餘るものは僅か數氏に過ぎざる寥落の姿と化し去つた事を追想する時、二本松の鳥瞰は、何となく意義あるを物語るものであらうと思ふ。

就中本間氏は安達實銀の頭取にして其の手腕の見る可きものありと稱せられたが、實銀の休業に間もなく殘れて仕舞つた、其の堂々たる私邸は、變りも變つたもので、自動車のガレージとして、昔の物影更にない實銀で思ひ出したが、二本松は、大地主や蠶家の多いだけに、銀行の本支店が多く開かれて居つた、二本松銀行は代表的に牢固を稱せられても亦果敢なくも

振りを染め、一絲亂れざる統制振りを以て他町有志家の羨望の的となつて居つたものである。

而して此等實業界の手は磐城方面の事業、製氷の各事業に延び、一は好間事業となり、一は泉製氷、四倉製氷、嬰て平製氷となつて磐城實業者との連絡となり事業熱旺盛時代の、導火線となつたものである、然るに此等有力なる、實業團は財界を吹き捲くる不況には抗し切れず相前後して、枕を列ねて、或は破れ、或は殘れ、其敗殘を餘るものは僅か數氏に過ぎざる寥落の姿と化し去つた事を追想する時、二本松の鳥瞰は、何となく意義あるを物語るものであらうと思ふ。

就中本間氏は安達實銀の頭取にして其の手腕の見る可きものありと稱せられたが、實銀の休業に間もなく殘れて仕舞つた、其の堂々たる私邸は、變りも變つたもので、自動車のガレージとして、昔の物影更にない實銀で思ひ出したが、二本松は、大地主や蠶家の多いだけに、銀行の本支店が多く開かれて居つた、二本松銀行は代表的に牢固を稱せられても亦果敢なくも

時代警語

○世人終日書を讀んで輟めず、竟に片時の靜座なきものあり、これ唯だ讀書の益あるを知つて而して靜座の理を知らざるなり……（庠彫）

『毎日半日靜座、半日讀書、之を行ふ數年、進せざるを患へず』と又以て其の後進に示すに厚きを思はしむる言である……

一日一題

街頭の雜音を續つて

仕事の心理學

快活は仕事の心理學

勇氣を增し疲勞を感せず、又快活は大なる生産なり、如何に完全なる機關車も熱活せられたる水の力を借るにあらざれば、一寸も動く能はずと熱心にしてこそすべてのもの、すべてのことは爲しとげられ得るのであらう全力を傾注してなすべきことは世に澤山ある——、

文化の進歩

進歩、錯雜せる生活の機構組織は人間が各々生來に有する仕事への尊い努力、精神の美をば何んの考慮判斷もせずに、つぶしてゐるのだ。吾等はこの街頭の小さいすてられてゐる幾多の雜音を聞いて實に人間があさましい慾望闘爭のために尊高なる人間自體の能率を低下してゐることを幾多思はば實に實に

人間の

いじらしさをなさけなく思はずにはゐられない、人はやはり自分のなす仕事を發見し、それに依つて慰められ、それによつて自分の心

とはたれかゞ云ひそうな文句だ。

世界を

あげて不景氣の沈滯になき、世をあげて不況にさはぐ今のこの目前の時代こそは

一度街

頭に目を轉じよ、その多くの商店も又多くの會社官廳も、機械も、工場も、すべれど。

西行小景

島田忠夫

（一）

○掛軸『古鏡』裏ていを乞ひに、富田溪仙翁宅を訪ふ。京都西さがなり。

庭前の苔あをむ光さびにけり大き繪だくみの靜けくゐます
つくばひに水ぞ通ひぬ閑かなるいほりの外にくひな鳴くこゑ
目をあきて光まぶしも閑庭に時なりは來て小鳥なくなゑ
わが書によき繪たまはれ繪だくみの面てにこやかにゐますに遺へり

話ちやないから呆れた

◇

今日の快晴再た曇りか降りに改正らしいと測候所の觀測

○……○

拈華微笑

◇メシ野村でメシ食へぬ話。一戸平均千兩の借金憂鬱だ

◇ご商賣柄黑くなるが常道の製炭意外。支那での召集されて逃走

◇屋、値段のガタ落ちで蒼くなる

◇

人間の組織

欠陥は、人間の心の美しさ、心の強さを隨分と減少せしめてゐるのではあるがそれでもその中に於てこそ自己發見せられ能率を增進せらるるものほど、いいのだよしやそれが、つまらない觀念的な論法ではあらうけれど。

△米國日露講和を勸告す（明治三八）△南朝を吉野朝と改稱す（明治四四）△關東能谷產小麥の走り出づ一俵十一圓七十錢（昭和五）△猿之助松竹復歸に決定△强震と共に淺間山また爆發△伊藤博邦公逝去△兵匪討伐軍總指揮何應欽氏便衣隊に狙撃され重傷△英國潛水艦芝罘沖で支那商船と衝突沈沒（同六）

〔社會の今日〕

○樹洩れ日のにしむ野川のみづすましいとまはればゆらぐ藻の花　佐々木信綱

夏祭り近づきにけりさかり住む君も逢ふべく待ちてゐまさむ　井上敏子

講談　お蘭陀お蝶

（50）

渡邊默禪作

布施長春畫

駿河、今川の末裔で義元がめて攻め拔いて大汗をかゝ桶狹間に戰死する時に着せるのに今日は又、他愛もゐたといふ古兜を傳家の寶ない打方をなさる、丁度是として秘藏してゐた、夙にれで三番續け樣の敗軍では陽明の人と成りを慕ひ、其何だが勝つても張合がござの學を唱へて一時關西の文りません、急にかうお弱く墳を風靡した位の學者であおなりなさる理由もないが る、且つ敏活な事務家で奉行高井山城守實德の配下にゐた時、切支丹家、又は賣〳〵嬶り立てゝから其の顏僧の檢擧やら官吏社會の醜を瞻つて行摘發やら他の者の手では成し得られない果斷の處分として一時に其の才力を發揮した、高井山城守が奉行の任務を解かれた時に自分も感ずる所があつて與力の職を拋ち、天滿與力町の屋敷に隱れて私塾を開き多くの子弟を教育してゐたが非常にアンビジョンの强い人つて不平に感じられる位だで、徒らに腐れ儒者として

つた、五郎兵衛方に、しば〳〵遊びに來て心學や陽明學の講話をして聞かせ又詩を吟ずる武家があつた、年頃五十前後、氣品の高い、骨格の秀いでた動作の重々しい人で辯舌は流暢、學識は該學世馴れぬお柳の眼にもそゞろに奥床しく見上げられた三好一家は下にも置かず敬ひ立てゝ先生〳〵と呼んでゐた。

是が有名な大鹽平八郎である。

平八郎名は後素、字は士起、號を中齋といひ、其の學堂を洗心洞と稱へた、歷代大阪町奉行組の與力をつとめて二百俵の祿を食んだ微官ではあるが其の家系は橫とでも申しませうか、攻老ゆるを好まず青雲の機一度至らば出でて天下の大政を一服毎に着々奏効し驚嘆と感謝の聲愈々高くなりました、迷はず疑はず論より證據一度御体驗下さい。

◎精力增進不可思議なる『マムシ膽』

强烈なる胃痙攣も此の膽を二個一時に服用すゝ時は二三分にて治癒する程の驚く可き卓効があります、マムシ粉と併用すれば一層特効があります。

◇健康体の人も常にマムシ藥を服用すれば心身爽快体力增進す（但し健康体の獨身者は遠慮あられ度し）

効能（心臟、胃腸、性力欠乏、食慾不進、神經衰弱、弱、冷性婦人病、腎臟、体力の衰てる人）

試藥説明書　無代進呈（東京市淺草田島町九川上蛇類研究所）

代理販賣店　井内　平町五丁目二二（金光堂時計店裏）

ラヂオ

……九日…〔木曜〕…

仙臺　JOHK

△前六、三〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇 料理献立（グラニット、レモン）朝倉長吉
日用品値段
△一〇、三〇A 家庭講座（子供寢卷の作り方と衣服に就ての諸注意）戸板裁縫女學校長青木あさ子
△正午 A 時報
△後〇、〇五A 俚謠（一、大宮小唄　二、大宮音頭　三、津輕小原節　四、津輕ジョンガラ節　五、津輕よされ節）
△〇、四〇A ニュース、氣象
△一一、〇〇A 家庭大學講座（世相の變化と日本婦人の立場）文部省社會教育官水野常吉
△一、三四〇A 氣象
△四、〇〇A ニュース
△六、〇〇A（子供の時間）ラヂオスケッチ（初夏）岩谷滿作HK子供會
△六、二〇A コドモの新聞　村岡花子
△六、二五A カレント、トピックス　ハロルド、バーマー
△六、三〇A 英語講座（中等科）繁野天來
△七、〇〇A ニュース　氣象
△七、三〇H 講演（神道の根本義）神宮奉齋會宮城本部長富山春三（洋樂の夕）
△八、〇〇B 獨唱…三浦環
△八、四〇A 合唱と管絃樂（樂劇『バルジファル』東京音樂學校管絃樂部員指揮…ブリングスハイム合唱…東京音樂學校生徒（日比谷公會堂東京音樂學校演奏會場より中繼）
△九、三〇A 時報　ニュース　氣象

御節句の御祝のオカヘシには！

漆器が一番

漆器は是非

專門勉强の親切

共へ

各國產漆器卸小賣

記念表彰品●進物贈答品●恩賜賞與品●賞品景品類

御注文應調製　丸共共榮漆器店

平町三丁目北裏（元郵便局裏通り）

○代理店新設

當地方に古き關係の深い而も業績のよい安心の出來る健實なる有隣生命保健株式會社の代理店を引受けました。何卒御利用の程を御願致します

有隣生命保險株式會社

平城北代理店　主幹　佐々木龍若

附屬社員　志賀寛

兎投賣

イタリー種仔兎（生後一ヶ月ノモノ）二十五錢デ御渡シ致シマス（但シ一ヶ月毎ニ十錢增）

總數百羽（親仔共全部ナルトキハ右以下ノ値段ニ應ズ）

双藥郡富岡町　石井兼次郎

產婦人科

午前宅診　午後往診　入院應需

花柳病科

井阪醫院

平町田町（元合津醫院跡）

電話五五九番

日本で（最大一番最良）の火災保險

東京海上

一、火事は何時何處で起るかわかりません
一、保險をつける事は災害の起つたとき確實にしかも迅速に保險金の取れる會社に限ります
一、東京海上は如何なる大火の時も又如何なる大きな金額でも直ちに支拂をする準備が出來て居ります。
一、東京の大震災の時自力を以つて火災保險を支拂つたのは東京海上只一つであります
一、保險をつけるなら日本一否世界屈指の確實な東京海上を擇ぶことが安全第一であります

東京海上火災保險株式會社　平代理店

阿部石炭商店

阿部政右衛門

電話三七番

專門大家が畢生の苦心

絕對の『治淋藥を完成』

强力の注射原藥を內服さす。

創製者　間部薫

間部淋藥

淋菌は此の藥位强烈でないと死滅しない

淋病　消渴

（特長の一）此藥は性病や尿科の大家等に淋病消渴治療の權威東京銀座一間部醫院長間部かほる先生が畢生の研究の結晶なり

（特長の二）先生が病院で毎日患者に使用してゐる獨特の注しゃ原藥を主劑として之に洋藥漢藥の粹が配され殺菌力强大なり

（特長の三）服用後强烈な殺菌力を有する注しゃ原藥が全部尿に混り放尿毎に尿道粘膜下の深部の淋菌迄撲滅す

（特長の四）患者し身の洗しょう注入は慢性やコウ丸炎又は婦人ならはうこうカタルになる恐るしい危險があるが本劑はしゑ然に內部から尿により洗しょうされ菌を一掃するから絕對その心配がない

（特長の五）しょう劑の藥効が强いに絕對劑作用なく安心して服める

【註文】は來訪カヤ振替代引でまうし込次第急みつ送す

【藥價】一週（輕症）參圓（惡性五圓）送料十二錢

（各種有名賣藥アリ）

責任保證

縣下一手販賣店　星製藥磐城配給所

ホシチエーンストアー平支部

平町三丁目舊郵便局隣　電話四二九番

內科、小兒科、外科一般、婦人科、皮膚、梅毒、淋疾病

市原醫院

（入院隨意）

平町田町本通　市原卯太郎　市原陸郎　市原三三男

電話一一四番

肺。肋膜。心臟全治の早道

マムシ藥發賣以來服用者は約貳百人食慾の出る事、体力の增す事、セキの止る事、熱の下る事、動悸の靜る事、等一服毎に着々奏効し驚嘆と感謝の聲愈々高くなりました、迷はず疑はず論より證據一度御体驗下さい。

◎精力增進不可思議なる『マムシ膽』

强烈なる胃痙攣も此の膽を二個一時に服用すゝ時は二三分にて治癒する程の驚く可き卓効があります、マムシ粉と併用すれば一層特効があります。

◇健康体の人も常にマムシ藥を服用すれば心身爽快体力增進す（但し健康体の獨身者は遠慮あられ度し）

効能（心臟、胃腸、性力欠乏、食慾不進、神經衰弱、弱、冷性婦人病、腎臟、体力の衰てる人）

試藥説明書　無代進呈（東京市淺草田島町九川上蛇類研究所）

代理販賣店　井內　平町五丁目二二（金光堂時計店裏）

內科、外科、婦人病科

花柳病科

入院隨意　自炊の便あり

平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）

安齊外科醫院

看護婦募集

外科　內臟外科　醫學士　整形外科　松永憲一　外科一般

產科。婦人科　院長　木村寅次郎

平新川町。十九

木村病院

電話一六四番

二丁歩の田地を有つ一流處が稅金を滯る

地方農家極度の窮狀に就て

實例を語る駒木根玉川村長

働いても働いても生活が樂にならず。ヂッと手を見る農家の疲弊は今や其の極に達して居るが石城地方でも多聞に洩れず稅金の滯納をはじめ其の內情眞に慘憺たるものがあるので町村長支會では地方選出代議士の應援を求め中央に進出して農村救濟の全國的運動に參加し何等かの局面展開を劃すべく曩に米專賣實施に關する輿論喚起の中心人物たりし駒木根玉川村長が今八日平町役場に伏見支會長を訪ね懇談する處あり、問題は目下尙ほ未決の裡に置かれてあるが農家の實際窮狀に就て駒木根氏は語る

田地二町歩を有つ自作農が稅金を滯納して居る。成る程反當り五俵として二町歩から穫れる百俵の內、之れが耕作に要する實際勞力四人と年寄り子供を加へ一家十人暮として自家消費米四十俵を差引くと殘り六十俵の代金は俵六圓として三百六十圓であるが其內最低二百四十圓から二百八十圓位の租稅その他公課と反當り五圓合計百圓の肥料代を控除すると殘りは僅か二十圓で道普請、堤修繕祭典費などの區費にも事を欠く有樣で敎育費や冠婚葬祭の義理張り被服費などと云ふものの出場所が無い、其處で滯納稅金の差押へに米の賣れる迄命から二番目の馬を提供すると云ふやうな事にもなるので實際朝飯前十軒も廻り歩いて五十錢の金が出來ずそれが爲にお悔みの義理を欠くと云ふやうな事實がザラにある

全体の八割三分が平均千圓の借金

背負ひ切れぬ重荷に

喘ぐ飯野村

飯野村役場では這般の消息を數字的に知るべく此程全村四百九十一世帶に就て負債調査を行つた處

負債あるもの四百七世帶

此金額合計四十五萬九千九百八十三圓

で負債を有せざるもの僅に全体の一割七分に當る八十四世帶に過ぎぬ有樣で村民は一戶平均九百三十六圓八十錢の負債と米其他諸生產物の暴落に泣いてゐる事が明判した、目下各町村で騷がれてゐる敎員の俸給未拂問題も曾てなく納稅成績も中位の同村すら尙此の慘狀に俸給未拂半ケ年に及ぶ川前村を始め山間部寒村の慘狀は蓋し想ひ半に過ぐるものがある

水時計の由來を記念當日に掲示

明後十日の平第一校

平町第一小學校では明後十日の時の記念日に左記事項を掲示し全校兒童に當日の趣旨を强調せしむると

千二百五十七年の昔天智天皇が水時計をお用ひ遊ばし報時の事を行はせられた我國最初の時計を用ひた記念日に當る由緣ある日を迎ふるに當つて一層時間尊重定時を勵行する良習慣を養成せねばならぬ。定時を勵行するには正しい時間が第一必要で停車場、電信局、放送時刻に毎日自宅の時計を合す事が大切である

田租徵收成績良好

石城郡下の田租第四期分は萬八千一圓中納期後更に去る三日の猶豫期間迄に納入されず滯納報告されたもの人員三百六人金額四百四十三圓で收入歩合九二五の好成績であつたが之れは土地貸貸價格二百圓未滿の小農に免稅の結果である

。。。。。。。。。。

理髮結髮合格者　植田、四倉兩署管內分次の如し

植田町（理髮）相良タマヨ　佐藤專一郎、柿沼源三郎（結髮）相川ハルヱ

四倉町（理髮）山之邊豊、加澤喜三郎、（結髮）松本ハルノ

飛んだ見込違ひから悲鳴を揚ぐる製炭界

加速度的に打撃增大

濱三郡木炭同業組合去月中で前年より二萬四千四百四十六俵の激減であるが五百廿餘名の生產家は一昨春から昨春にかけて現出した木炭界の變態的好景氣風に釣り込まれ爭つて殆ど餘す所なき迄に山林を買占め臨時人夫を入れて生產した結果豫定の百萬俵を突破し百九十四萬餘俵に達し需要も相てゐた處不況と生產過剩に依り今年初から俄然暴落し始め時下相場は左の如く昨年度中から二割五分安となつたのと材料の思惑買の失敗から製炭毎に實に七割以上の欠損を生じ目下の狀態で推移すれば益々欠損を大ならしめ一層の苦境に陷るのみであるが從來の關係上止める事もならず悲鳴を上げてゐる

生產檢査高は

石城	五九、九〇一俵	
双葉	六二、四三八	
相馬	二三、八五二	
合計	一四六、一九一	

種別	產地賣	地方賣（實當り）
角俵楢	一二錢	一五錢
白炭雜	一〇	一三
栗樅炭	八	一〇
松	八	一〇
鍛冶炭	一五	一八
風損木	一〇	一三
荒	八	一〇
細丸	九	一一

今日の快晴は一時的で夕刻頃から再た曇る

矢張り煮え切らぬ天候が續かう

小名濱測候所で空の打診

雨の宵節句に引き替へ今日は思ひも寄らぬ好晴、まさに見つけものの節句である、兩三日來の鬱陶しい天候に此の儘梅雨に入つてしまふのではないかと半ば觀念された丈け、雨後の新綠に輝く陽の光りも一しほ晴々しく感ぜられる、處で之れが續くと儲けものだが小名濱測候所の觀測によると

——これはほんの一時的のもので七六八ミリと云ふ高氣壓が相變らずオホーツク海にあるので今夜（八日）あたりから再た曇る見込である、何しろ雷雨の形が脫けないので毎日降るとは限らないがこの梅雨季中は例年通り煮え切らぬ天候が續く事と觀測される。云々

平郵便局の赤字

昨年より一割內外減

平郵便局扱ひ去月中の各種成績は

△爲替　受一、五七七件　拂一、五七七件

四四、六四一圓　拂一、五七七件　受四、五四四　拂四、九一三

六九五件六二、八〇二圓　內外の減である

△貯金　受七、四六六件　拂二、一四七、三〇〇圓

三二二件一七〇、五一六圓△電報　受二、三二二　拂二、三二二

托送三、三四三　中繼一　配三、九四三△書留　受四、五四四　拂五七一

挿秧期注意

勿來町で督勵

石城郡南方部の田植は來る十日前後に行はれる模樣だが氣候其の他の關係から十日頃が最適期と言はれてゐるので勿來町では極力挿に重賞がられてゐる

召集されて逃げた大横着者に一ケ月

支部及區裁判便り

陸軍刑法違反に禁錮

內郷村大字綴字町の內日雇　個價格二十圓、大浦村片寄茨城縣久慈郡生れ鴨志田市菊治方水車小屋から白米一之助（三三）が後備步兵一等兵として三月一日召集を受け乍ら逃走し行衛を晦ましたから平區で關口判事係り市陸軍刑法違反事件は今八日午前十時川檢事關與開廷求刑通り八ケ月の懲役言渡しあつた

名丈けの清

郡南荒しに

一年の求刑

窃盜男へ八ケ月

四倉町福田町小林清（四五）が去月三日同町海岸繫留中の坂本嘉兵衛所有發動機船機關室からクランクメダル一を窃取したのを初め勿來、平町慶弔錄

△出生

三倉八長野縣上高井郡須坂町一一〇堀內治三郎長女カツ

立町八九大野村戶田平治郎前二四白土仙次郎六男榮佑

紺屋町六二群馬縣利根郡古馬牧村師四九二木村勝右工門三女文子

▲死亡

手掛町一〇四神奈川縣横須賀市下入斗藤森セツ（八〇）

三倉八堀內カツ（一）

拾つた話（10）

怪しからぬ藥品

彼女は竟に健康でなかつた

神樣から貰つた秘密の筥を開けちやいけないと云はれたのを無理に開けた、それで筥の中から嫉妬や爭鬪や怠惰やつまり世の中はその筥からノールの奈き壜と美神淋藥醜惡になつたんだ。けれどもの箱が出た。

彼女の鏡台の抽斗からゴ

×

も一番おしまひに希望の虫が飛び出した、希望があるから世の中は救へる。——希臘の神話『パンドラ』のアウトラインだ。

×

「公休なんかにはお部屋へ遊びに來ても、別に阿母さんが惡い顏をするでなし、かまはないわ、だけど鏡台の小さがしは絕對駄目よ」

と念を押されたに拘らず、風呂の歸りが待ち切れず遂い日頃の戒律を犯した處がこの始末だ、此の思ひ設けぬ彼女の秘密に彼氏は飛び上らんばかりに驚いた、次の瞬間には一種云ひ知れぬ惡寒を感じた。

×

お酌以來彼女の觸潔を信じてゐた彼氏は、卒然として與へられたトリッペルと云ふ問題に對して靜かに其の原因を考へて見た、そして根本から裏切られた腹立たしさから

——藥を絕やさず折角御療治の程祈り上げ候

と其處にあつた用箋に走り書きしてプイと外へ出た。そしてパンドラの神話を想ひ出す彼氏であつた。

某教諭の名を利用し

磐中卒業生を騙り歩く

——各自御用心の事——

磐崎にチフス　磐崎村大字白鳥字鯉打一七大井川清次（八）は昨七日腸チフスと決定隔離さる

磐崎村上高井郡須坂町一一

公開教授

平町三小學校では附近小學校農桑休業を利用し來十七八の兩日左記の通り公開教授をなすと

（第一）

十七日（六年）理科—兒童實驗を主としたる敎授、水竹（一年）唱遊—鑑賞を主としたる指導、矢野（高二）國史—元祿時代の文藝の考察批判、藤田（三年）讀方—讀みの指導を主と致します、井上

十八日（二年）算術—カード使用を主としたる加減法の指導、坂內（四年）修身—生活指導に立脚せる敎授、古川（五年）綴方—生活指導の鑑賞批評文話、松本（高二）木工マッチ差着色仕上げ—山邊

（第二）

十七日（尋一）算術—木村（高一）讀方—草野（尋二）算術—山森（尋四）理科—鈴木（尋六）地理—小松（高二）圖畫—渡邊

十八日（尋二）唱歌—渡邊（尋五）國史—佐藤（尋三）算術—大和田（高一）家事—阿部

（第三）

十七日（尋一）直觀方便物使用による算術—吉田（尋三女）書方に於ける平假名筆法指導—林（尋六男）班別指導による体操の實際—石田

十八日（尋二）作法中心の修身敎授—蛭田（尋四男）獨自學習に於ける圖畫指導—長谷川（尋五男）作業化迄の聽方敎育—花澤

インテリ失業者が增加した爲か最近巧妙な詐欺などが横行し人々を警戒せしめて居るが此程來磐中某教諭の名を利用し平町附近の磐中卒業生名簿調製費として一圓宛を騙り歩く者あるらしく頻々と同敎諭の許に問ひ合せが來るので各自注意あり度いとの事である

服毒自殺らしい

番頭風の死体發見

小川村役場で假埋葬

昨七日午後七時頃上小川村大字上小川字瀧地內路傍の叢に年齡三十八、九歲位死體あるを通行人が發見し平署に急報したので出張檢視したが死後十日間を經たらしく一圓七十錢入の蟇口を所持するのみで身許一切判明せず側にあつたカルモチンの箱からみて覺悟の自殺らしく村役場で假埋葬に附した

△泣き笑ふ小娘　臺灣基隆市義重町六丁目四堀野みつ（三）サンは妻にしてやるといふ臺北明治製菓の販賣員研究會に出席する

勿來町通信發行　勿來町では毎月一回町の各種事業及び注意事項其の他重要な記事を載せた町の通信を發行し町內各戶に配付し非常高女松ケ岡片倉製糸を見學した

第二橋本訓導　來十一日本縣女子師範學校に開かれる女敎員研究會に出席する

勿來町通信發行　勿來町では毎月一回町の各種事業及び注意事項其の他重要な記事を載せた町の通信を發行し町內各戶に配付し非常高女松ケ岡片倉製糸を見學した

縣多賀郡南中郷小學校生徒三百餘名は今八日來平磐中

嬰兒殺し

豫審終結

飯野村上荒川看護婦鈴木トヨ（三三）が三月二十九日頃夏（八）を井村鈴木花京方で產氣づき分娩した嬰兒を殺害した事件は平支部藤原豫審判事の手により審理中の處七日豫審終結決定したが公判期日未定であると

磐崎村大字白鳥字鯉打一七大井川清次（八）は昨七日腸チフスと決定隔離さる

服毒自殺らしい

番頭風の死体發見

小川村役場で假埋葬

昨七日午後七時頃上小川村大字上小川字瀧地內路傍の叢に年齡三十八、九歲位死體あるを通行人が發見し平署に急報したので出張檢視したが死後十日間を經たらしく一圓七十錢入の蟇口を所持するのみで身許一切判明せず側にあつたカルモチンの箱からみて覺悟の自殺らしく村役場で假埋葬に附した

△泣き笑ふ小娘　臺灣基隆市義重町六丁目四堀野みつ（三）サンは妻にしてやるといふ臺北明治製菓の販賣員研究會に出席する

勿來町通信發行　勿來町では毎月一回町の各種事業及び注意事項其の他重要な記事を載せた町の通信を發行し町內各戶に配付し非常高女松ケ岡片倉製糸を見學した

縣多賀郡南中郷小學校生徒三百餘名は今八日來平磐中

平町三小學校

公開教授

平町三小學校では附近小學校農桑休業を利用し來十七八の兩日左記の通り公開敎授をなすと

（第一）

十七日（六年）理科—兒童實驗を主としたる敎授、水竹（一年）唱遊—鑑賞を主としたる指導、矢野（高二）國史—元祿時代の文藝の考察批判、藤田（三年）讀方—讀みの指導を主と致します、井上

十八日（二年）算術—カード使用を主としたる加減法の指導、坂內（四年）修身—生活指導に立脚せる敎授、古川（五年）綴方—生活指導の鑑賞批評文話、松本（高二）木工マッチ差着色仕上げ—山澤

諸判定應需

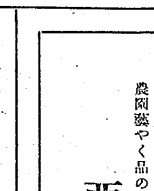
東京市本郷區湯島四丁目五番地

高島易斷總本部　神誠館

▲一白の人　浮沈の別れ目にて出

日	月	火	水	木
斗宿	危	佛滅	辛丑	曜
九	月	六	五	六

△女腰卷蒐集家　函館市宇賀浦町一三釜澤長吉（四五）クンは腰卷を見るとムラ〳〵と湧きくるヤルセない思ひに眞紅の娘用のであらうと又色褪せた人妻のであらうとぬれたのであらうと町々の物干からこれを盜んでは持ち歸りエロを滿喫し



各地痴情

スーユニ

横濱植木株式會社撰

草花、蔬菜類

優良種子

各種賣出し致しました。

農園藝やく品の御相談は

西村屋藥局

電三番

タクシーの御用命は

是非…尼子タクシーへ

親切安全第一を主義と致して居ります

電六四〇番

主任澤資之（正路改）

一番いよ無盡

無盡は

湯本信用無盡

——鶴岐延人員二〇三五名內徵兵七、軟性下痢一〇、淋菌六九、其他二、計八八——

以上の如き平署管內に於ける今年になつてからの健康診斷成績は昨日の夕刊で見たばかりであるが彼女に限つては斷じて不要な統計であるとその健康を今が今迄信じ切つてゐたのに……彼氏に對する彼女のトリッペルは全く思ひも寄らぬ秘密であつた。

やれ（二七）さんは結婚前だといふのに許嫁の中區廣路町成瀨俊男（三三）君といい氣になつた結果既に姙娠の徵あり母親から結婚させぬと叱られて入水自殺を遂げた

△妻ドロ　亞之助　岐阜縣笠松町うどん製造職人岩田亞之助（三四）クンは妻盜人で評判の男だが同郡柳津村今井田代次郎の妻みかには寢所で刎ねられ磨も立てられず歸宅それにしても男がすたると再度今井田家に忍び込んだ所を代次郎に發見され女の顏も拜めずその筋へ

△凄い腕の姦夫　神戶市林田區二番町二丁目千葉孝三郎（三〇）は妻のたかえ（二九）が姦夫須磨區西代通り四丁目內藤某の許に奔つて以來今日か明日かと千秋の思ひで妻の歸宅を待ちあぐんでゐたが、之れを知つた內藤がスゴ文句で孝三郎を脅かすやら果ては危害をも加へん勢ひにヤレ〳〵と妻を離別した